

プロジェクト名	バーチャルドイツ語圏旅行の企画書作り
タイプとレベル	「リーディングと語彙」 A2～B1、 「ライティングと文法」 A2
期間	準備期間として毎回の授業の後半 45 分を 3 回+プレゼンテーション
対象者	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生（後期の後半に実施）
計画案 <small>（課題、目的、学習対象、利用可能なツール、技術的な前提、進行プラン例）</small>	<p>課題 : 旅行会社の企画部に就職したつもりで、ドイツの旅行情報をまとめたサイト等を利用し、2～3 人のグループで予算 15～30 万（航空運賃別）10 日間の旅行プランを企画し、売り込むためのプレゼンを考える。内容は、PowerPoint シート 10 枚程度にまとめ、10 分程度の発表を 3 週間後に行う。PowerPoint シートは原則としてドイツ語で作る。発表言語は日本語でもかまわないが、できる部分はドイツ語も使う。</p> <p>目的 : 1) ドイツ語の情報検索サイトから必要な情報を読み取る (A2～B1 レベルの reading)、2) 理解した内容を簡単なドイツ語文でまとめる (A2 レベルの writing)、3) 自分たちがドイツ語を使って理解した情報を、それをまだ知らない第三者に伝える体験をする、4) 地名、国名や Landschaft に関連する語彙の習得、Wechselpräpositionen とその使い方の確認、新出語彙の発音を自分の力で調べ、発音できるようにする。</p> <p>利用可能なツール :</p> <p>学生：ドイツの旅行情報検索サイトやドイツの航空各社のサイト、 DB、Die Fernbus Suchmaschine、BlaBlaCar、EuroVelo 等の列車、長距離バスのルート・時刻表検索、相乗り情報や自転車旅行に関する情報検索サイト、各地の観光案内情報サイト、Glosbe・Reverso Dictionary などのオンライン辞書各種、読み上げサイト、日本の旅行会社の国内旅行サイト、PowerPoint、漫画コマ割り作成用のアプリ Strip Designer、Word、QR コード無料作成用ページ等。</p> <p>教員：語学教員用教材共有サイト iSLCOLLECTIVE</p> <p>技術的な前提 CALL 教室等が使えるれば望ましいが、最低限、教員用 PC が 1 台ネットに接続でき、その画面を提示できれば良い。</p> <p>プロジェクト進行プラン</p> <p>① 準備：先行する授業の中で、時間（時刻と時間の長さ）、旅行や移動（訪問、鑑賞・観覧、出発・到着・乗り換え等）、趣味や活動（Freizeitbeschäftigungen/ Aktivitäten）に関わる表現を扱っておく。プロジェクト実施期間中、適宜、教員は、</p>

	<p>Wechselpräpositionen とその使い方等を扱ったペーパーなどを配ったり、並行する通常の授業時間（授業前半の 60 分）内にそれらを扱ったりする。また、ドイツのサイトで時刻表やルート検索をする前に、たとえば「JR お出かけネット」などで国内の旅行の時刻表やルートを検索させ、その結果をドイツ語でまとめさせるような作業をしておく日本語で確認した機能からの類推で、ドイツ語のサイトにおける情報の理解が容易になる。他に、発音サイトの読み上げ機能の体験などもさせておくとよい。</p> <p>① 第 1 回にやること：課題を説明し、3 週間後に発表会を行うことも宣言し、グループを作らせ、1) 対象をどうするか（一人旅、卒業旅行、新婚旅行、30 代のカップル、ファミリー、老夫婦）、2) どこにどれくらい滞在するか、3) ここで何を見るか、4) 何をするか、5) 何を食べるか、6) 移動手段はどうするか、7) この旅行を特別なものにする特徴は何かをそれぞれ考えさせ、それを適切に表すキャッチコピー(例：『ドイツワインと味覚の旅』『自転車でめぐるドイツ世界遺産』『ドイツ温泉巡り』『ドイツ語圏四都物語 (Berlin - Hamburg - München - Wien)』) を作らせる。</p> <p>② 教員は、DB を始め、いくつかの検索サイトの機能を紹介するとともに、観光サイトの情報やその見方を説明する。各グループが考えた企画のキャッチコピーは板書し、各自の旅行計画ができるだけ重ならないようにする。30 分の時間以内に決められなければ、翌週までにグループ内で連絡を取って決めさせ、各グループに一人責任者を決め、教員に連絡させる。また宿題として各自自分なりの企画を考えてくるよう指示する。</p> <p>② 第 2 週にやること：各グループで、朝食・午前中にすること、昼食、午後にすること、夕食、夕方から夜にすること、宿泊などを枠として、1 日ごとに起床～就寝までの具体的な旅行計画とそこでやりたいことを考える。食事についても、その場所の名物やドイツならではの特色のある食事（逆にたまには和食など）を具体的に考えさせる。</p> <p>③ 第 3 週にやること：書くことを決めて、PowerPoint シートにまとめさせていく。実際のプレゼンテーションの役割分担や練習は、授業外で各グループに準備させる。発音練習に必要なモデル音声は、読み上げサイトを利用して作る。</p> <p>④ 発表会当日：発表会は他のクラスの学生にも公開するか、可能なら複数クラス合同で行う。参加者全員に 1 人 2 票与えて、最後に、良かったと思う発表をしたグループに投票させる（人気投票の実施）。学生には、評価アンケートも書いてもらう。</p>
ポイント	<p>1) 「〇人でグループを作り、今まで習った表現を利用して、〇〇週間後を目処に、パワーポイントシート〇枚程度使って、ドイツ語圏旅行の企画書を作りプレゼンしよう。〇月〇日に、クラス外の人も呼んで発表会しよう」等と、最初に、課題と期限を明示することが重要。</p>

- | | |
|--|---|
| | <p>2) 内容面では、行きたいなと思える企画をつくることを課題とする。発表会をやってクラス外の友人を招くこともそうだが、プロジェクト型学習でいちばん大事なことは、<u>観客の存在を意識化させること</u>。</p> <p>3) 発表会で PowerPoint プレゼンテーションをする代わりに、Strip Designer や Word 等を使って旅行パンフを作らせてもいい。</p> |
|--|---|